エコアクション２１

環境経営レポート

2022年度【第14版】

（対象期間：２０２２年３月から２０２３月２月）

発行日：２０２３年3月３１日

株式会社　レイジュウ

目　　次

１.環境経営方針	P1
２.事業概要	P2
３.実施体制	P3
４.役割・責任・権限表	P4～5
５.中期環境経営目標	P6
６.2022年度環境経営活動計画と実績評価	P7
７.2022年度環境経営目標と実績評価	P8～10
８.環境経営活動状況	P11～15
９.環境法規制の遵守状況	P16
10.代表者の見直し	P16

１．環境経営方針

（基本理念）

地球と人にやさしい企業であることと、地域社会に貢献する企業を目指します。

建設業の事業活動において、環境活動の継続的改善を行ないます。

（基本方針）

1.二酸化炭素排出量削減を推進する。

化石燃料（ガソリン、軽油、ガス）の削減・電気使用量の削減を実施する。

2.廃棄物の減量化・リサイクルを推進する。

3.節水を推進する。

4.環境に配慮した工事を行なう。

5.グリーン購入を推進する。

6.環境関連法規等の遵守を行なう。

7.環境に関する地域貢献活動を実施する。

作成年月日　2009年11月1日

改訂年月日　2019年10月10日

代表取締役　植里幸太郎

２．事業概要

事業所名及び代表者名

株式会社　レイジュウ
代表取締役　植里幸太郎

〒863-2503　熊本県天草郡苓北町志岐２３４－１（本社）
〒863-2504　熊本県天草郡苓北町年柄字下弥太郎河内６００（産業廃棄物一時保管場所）

環境経営システムの責任者、担当者及び連絡先

環境管理責任者　　宮下　昇
工事部責任者　　酒井　覚
事務部責任者　　宮下　昇
事務局　　中本　加奈子
連絡先　TEL　０９６９－３５－２５５４
　　FAX　０９６９－３５－２５５７

認証登録範囲

全組織、全活動を対象範囲とする

事業内容（ＥＡ２１対象活動）

建設業（土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、鋼構造物工事業、塗装工事業、管工事業、解体工事業）
クレーンリース業
産業廃棄物収集運搬業（自社工事にて発生する建設廃材のみ取扱）

事業許可番号

建設業許可　熊本県知事許可（般・特－１）第１１２４８号
産業廃棄物収集運搬許可　熊本県　第０４３０００００５０１号
※現状では、受託での産業廃棄物の収集運搬の実績はありません。

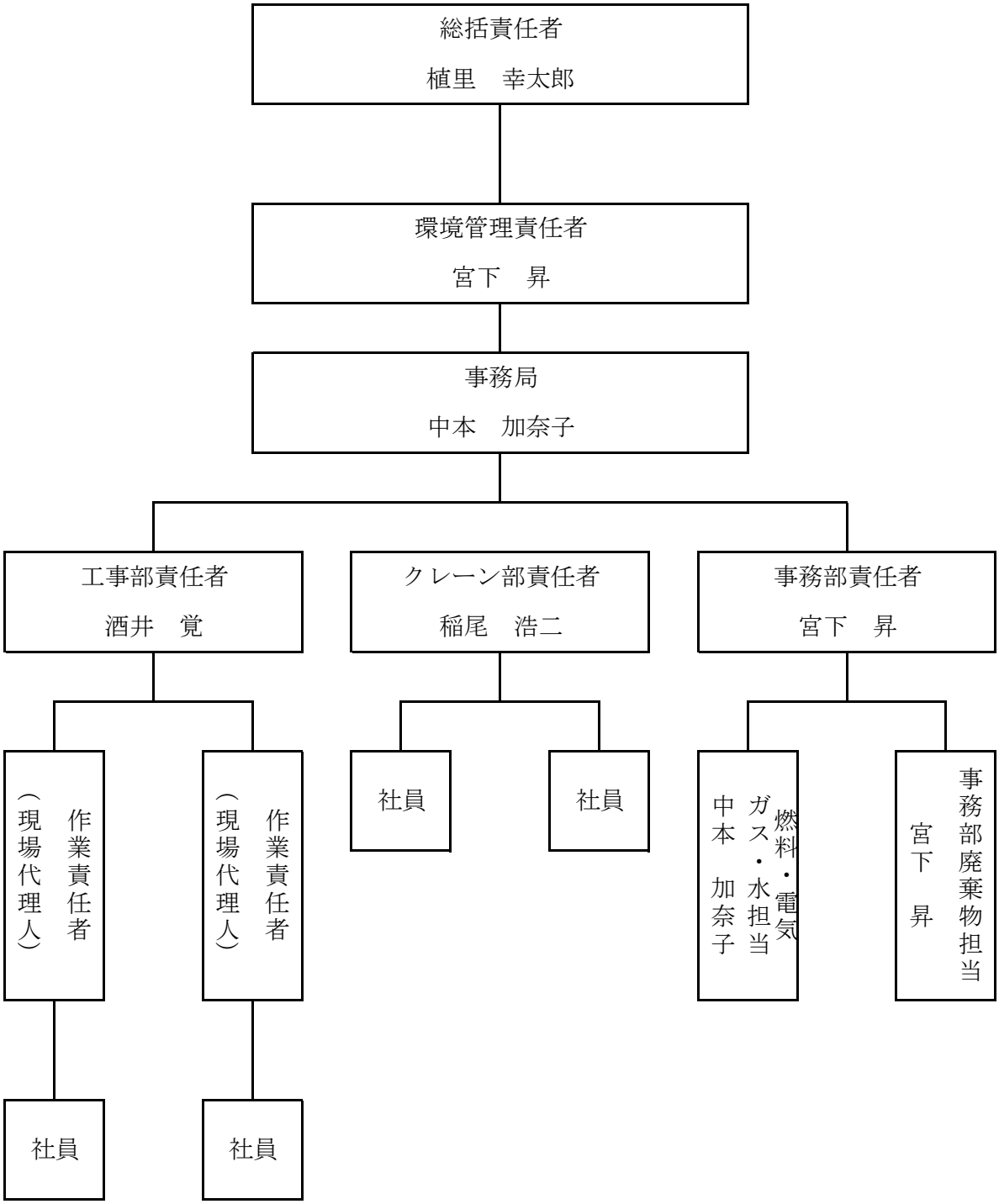
事業規模

設　立　　昭和５９年３月
資本金　　２，０００万円
従業員数　　２２名
事務所床面積　３０５m^2

事業年度

３月～翌年２月

３．実施体制


総括責任者
植里　幸太郎
環境管理責任者
宮下　昇
事務局
中本　加奈子
工事部責任者
酒井　覚
クレーン部責任者
稲尾　浩二
事務部責任者
宮下　昇
作業責任者（現場代理人）
作業責任者（現場代理人）
社員
社員
燃料・電気
ガス・水担当
中本　加奈子
事務部廃棄物担当
宮下　昇
社員
社員

４．役割・責任・権限表

総括責任者－代表取締役：植里幸太郎

１．環境管理責任者からの報告を受け、全体の評価と環境経営方針、実施体制の見直しを行う。

２．環境管理責任者をはじめ各担当に環境への取組に関する権限と責任を与える。

環境管理責任者－宮下　昇

「責任及び権限」

全社員にエコアクション２１を実行させる権限を持ち、その行動の責任を担う。

「行動手順」

１．工事部、事務部の責任者より報告を受ける。

２．２月に環境への取組み自己チェックの取りまとめを行い、翌月の会議における報告会を開催する。

３．環境目標を設定し、達成状況を把握すると共に３月の会議で全社員に報告する。

４．３月中旬に環境経営レポートを作成し発行する。

５．環境関連文書及び記録の作成・整理を行う。

６．外部からの環境に関する苦情や要望を受付、必要な対応を行う。

７．環境関連法規制の取りまとめを行う。

８．環境管理責任者は、２月にエコアクション２１の構築・運用状況を総括責任者へ報告する。

工事部責任者－酒井　覚

「責任及び権限」

作業責任者にエコアクション２１を実行させる権限を持ち、その行動の責任を担う。

「行動手順」

作業責任者より報告を受け､環境管理責任者へ報告すると共に､会議で発表する。

作業責任者－現場代理人及び主任技術者

「責任及び権限」

作業員に使用物資の削減、エネルギーの削減、廃棄物の削減及び分別・リサイクルを実行させる権限を持ち、これらの行動の責任を担う。

「行動手順」

１．毎月、請求書から使用量を確認し記録する。

２．使用量を２月に取りまとめを行い、工事部責任者に報告する。

３．３月に環境への取り組み自己チェックを実施し、工事部責任者に報告する。

４．３月に環境負荷・環境への取り組み自己チェックをもとに、節減、省エネ、廃棄物の削減、分別リサイクルに関する行動計画を策定し、工事部責任者に報告する。

事務部責任者－宮下　昇

「責任及び権限」

それぞれの担当者へエコアクション２１を実行させる権限を持ち、その行動の責任を担う。

「行動手順」

それぞれの担当者より報告を受け、環境管理責任者へ報告すると共に、会議で発表する。

事務部廃棄物担当－宮下　昇

「責任及び権限」

全社員に廃棄物の削減、分別、リサイクルを実行させる権限を持ち、これらの行動の責任を担う。

「行動手順」

１．廃棄物の収集を行い、委託運搬処理業者への引き渡しを行う。
２．廃棄物の収集の際に分別や排出方法が適切かの確認を行うと共に、排出廃棄物の動向においても注意しておく。
３．毎月、廃棄物排出量を確認し、記録する。
４．廃棄物排出量を２月に取りまとめを行い、事務部責任者へ報告する。
５．３月に廃棄物に関する環境への取組自己チェックを実施し、事務部責任者へ報告する。
６．３月に環境負荷・環境への取り組み自己チェックをもとに廃棄物の削減、分別､リサイクルに関する行動計画を策定し、事務部責任者に報告する。

燃料・電気・ガス・水担当－中本　加奈子

「責任及び権限」

全社員に燃料・電気・ガス・水の節減行動を実施させる権限を持ち、これらの行動の責任を担う。

「行動手順」

１．毎月、請求書からそれぞれの使用量を確認し、記録する。
２．それぞれの使用量を２月に取りまとめを行い、事務部責任者へ報告する。
３．３月に環境への取り組み自己チェックを実施し、事務部責任者へ報告する。
４．３月に環境負荷・環境への取り組み自己チェックをもとに燃料削減及び省エネ行動計画を策定し、事務部責任者へ報告する。

５．中期環境経営目標

建設業においては、作業内容や工種により、環境経営目標の設定が難しいため独自に創意工夫し努力します。

今回の基準設定は、2018年度～2020年度の実績をもとに設定しました。

・工事内容等の違いに伴いかなりの増減があるが、目標は基準年比１％／年削減とし、達成度は前年度の実績を考慮しながら評価をする。

・LPGガス使用量は12年の取組みを鑑み、現状維持とすることとし、基準及び目標を20以下とする。

・来年度よりクレーン部も対象とする。そのため、燃料使用量の目標項目を細分化し、目標を設定する。

活動計画－2020年度の活動計画を継続して実施する。

○削減目標率（基準年比　１％／年削減）

項目		単位	2018年度～2020年度（3月～2月）年間の平均 基準	2021年度（3月～2月）－１％ 目標	2022年度（3月～2月）－２％ 目標	2023年度（3月～2月）－３％ 目標
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	494,345	489,402	484,458	479,515
〃		kg-CO_2/百万円	904	894	885	876
購入電力		kwh	13,038	12,908	12,778	12,647
燃料使用量		ℓ	187,387	185,513	183,639	181,765
内訳	1.工事部	ℓ	95,259	94,307	93,354	92,402
		ℓ/百万円	319	316	313	310
	軽油	ℓ	89,453	88,558	87,664	86,769
	ガソリン	ℓ	5,793	5,735	5,677	5,619
	2.クレーン	ℓ	88,123	87,242	100,155	85,480
		ℓ/百万円	353	349	346	342
	軽油	ℓ	87,345	86,472	85,598	84,725
	ガソリン	ℓ	675	668	662	655
	3.事務所	ℓ	4,004	3,964	3,924	3,884
LPG使用量		kg	20	20	20	20
廃棄物搬出量（一般廃棄物）		t	0.26	0.26	0.25	0.25
廃棄物搬出量（産業廃棄物）		t	480.68	475.87	471.06	466.26
水使用量		m^3	145.67	144.21	142.75	141.30
地域貢献活動		回	2.00	2.00	2.00	2.00
エコマーク・グリーン製品再生紙の購入		%	100.00	100.00	100.00	100.00

・購入電力の排出係数は平成29年度九州電力0.463を使用した。（調整後排出係数）

６．2022年度環境経営計画と実績評価

項目		取組内容	責任者	実施状況の評価
ＣＯ２排出量の削減	購入電力量の削減	1.小まめなスイッチＯＮ，ＯＦＦ	中本　加奈子	○
		2.室温管理を徹底する		
		事務所　冷房26℃、暖房20℃		△
		現場事務所　冷房26℃、暖房20℃		△
		3.昼休みの消灯		○
		4.基本料金の見直しを行う		
		5.ＬＥＤ照明の設置		○
	燃料使用量の削減	1.急発進、急加速禁止	酒井　覚 中本　加奈子	○
		2.空ふかし禁止		○
		3.アイドリングストップの徹底		○
		（アイドリングストップ記録票の作成）		○
		4.燃料量の集計		○
		5.極力、乗り合わせで移動する		○
		6.車買替時、低燃費車の購入促進		○
		7.タイヤ空気圧のチェック		○
		8.アイドリングストップ（重機､クレーン）		○
	LPG使用量の削減	1.過加熱をしない	中本　加奈子	○
一般廃棄物搬出量の削減		1.廃棄物の分別収集	宮下　昇	○
		2.再利用する		○
		3.廃棄物の集計		○
		4.無駄なコピーをしない		○
		5.裏紙の利用促進		○
産業廃棄物搬出量の削減		1.廃棄物の分別収集	酒井　覚 中本　加奈子	○
		2.再利用する		○
		3.マニフェスト伝票の管理		○
		4.廃棄物処理簿の作成		○
水使用量の削減		1.水の適量使用	酒井　覚 中本　加奈子	○
		2.止水を行う		×
働き方改革		1.休日の確保	酒井　覚 中本　加奈子	○
		2.残業の削減		△
		3.年に一回の健康診断実施		○
		4.健康診断再検査対象者へ受診を促す		○
グリーン購入推進（再生紙等）		1.再生紙の購入	宮下　昇	○

※　○：できている　△：もう少し　×：できていない

7．2022年度環境経営目標と実績評価

活動結果

項目		単位	2018年度～2020年度（3月～2月）年間の平均 基準	2021年度（3月～2月） 実績	2022年度（3月～2月）－２％ 目標	2022年度（3月～2月） 実績	目標評価	前年実績評価
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	494,345	420,374	484,458	585,966	×	×
〃		kg-CO_2/百万円	904	747	885	1,366	×	×
購入電力		kwh	13,038	12,309	12,778	13,389	×	×
燃料使用量		ℓ	187,387	159,242	183,639	222,278	×	×
内訳	1.工事部	ℓ	95,259	61,585	93,354	127,894	×	×
		ℓ/百万円	319	226	313	561	×	×
	軽油	ℓ	89,453	54,672	87,664	121,781	×	×
	ガソリン	ℓ	5,793	6,725	5,677	6,030	×	○
	2.クレーン	ℓ	88,123	94,907	100,155	90,286	○	○
		ℓ/百万円	353	327	346	449	×	×
	軽油	ℓ	87,345	93,780	85,598	88,548	×	○
	ガソリン	ℓ	675	1,127	662	1,738	×	×
	3.事務所	ℓ	4,004	3,670	3,924	4,097	×	×
LPG使用量		kg	20	15.94	20	15.11	○	○
廃棄物搬出量（一般廃棄物）		t	0.26	0.27	0.25	0.26	×	○
廃棄物搬出量（産業廃棄物）		t	480.68	104.69	471.06	218.15	○	×
水使用量		m^3	146	163	143	210	×	×
地域貢献活動		回	2	1	2	2		
エコマーク・グリーン製品再生紙の購入		%	100	100	100	100	○	○

・比較対象として、本年度も前年度の実績を載せることとした。

・購入電力の排出係数は平成29年度九州電力0.463を使用した。

結果の分析

1.二酸化炭素排出量は目標達成できなかった。売上げに対しても目標達成できなかった。
今年度については、重機、ダンプトラックを使用しての仕事が多く、機械等の台数の割には売上が下がった為と考えられる。

2.購入電力については、目標できなかった。
温暖化が進み、エアコン設定温度のオーバーが考えられる。

3.燃料は使用料に関しては、工事部が大きく増加したため目標達成できなかった。
工事部は二酸化炭素の排出量と同様の原因が考えられる。
クレーン部に関しては使用料は目標達成することができた。軽油は売上同様減っているが、ガソリンが増えている。原因としては、クレーン作業の長期連続使用の現場が多く現場に通勤するための普通車の使用が増えたことにある。

4.ガス使用量は、目標は達成できてよかった。

5.廃棄物搬出量（一般廃棄物）は去年の実績より減っている。

6.水使用量は、どちらも達成できなかった。7・8月の使用が極端に多く、資材洗浄時に、水を出しっぱなしにしていたことがわかった。

7.物品購入については、以前からグリーン購入に努めている。

8.リサイクルについては､以前からリサイクル処理･リサイクル製品の使用を実行している。

次年度の取組内容

1.電気量については、エアコンのフィルター及び室外機の清掃・点検を実施する。また、設定温度の周知・徹底を行う。会社内の照明を随時ＬＥＤに替えていく。（１箇所は済）

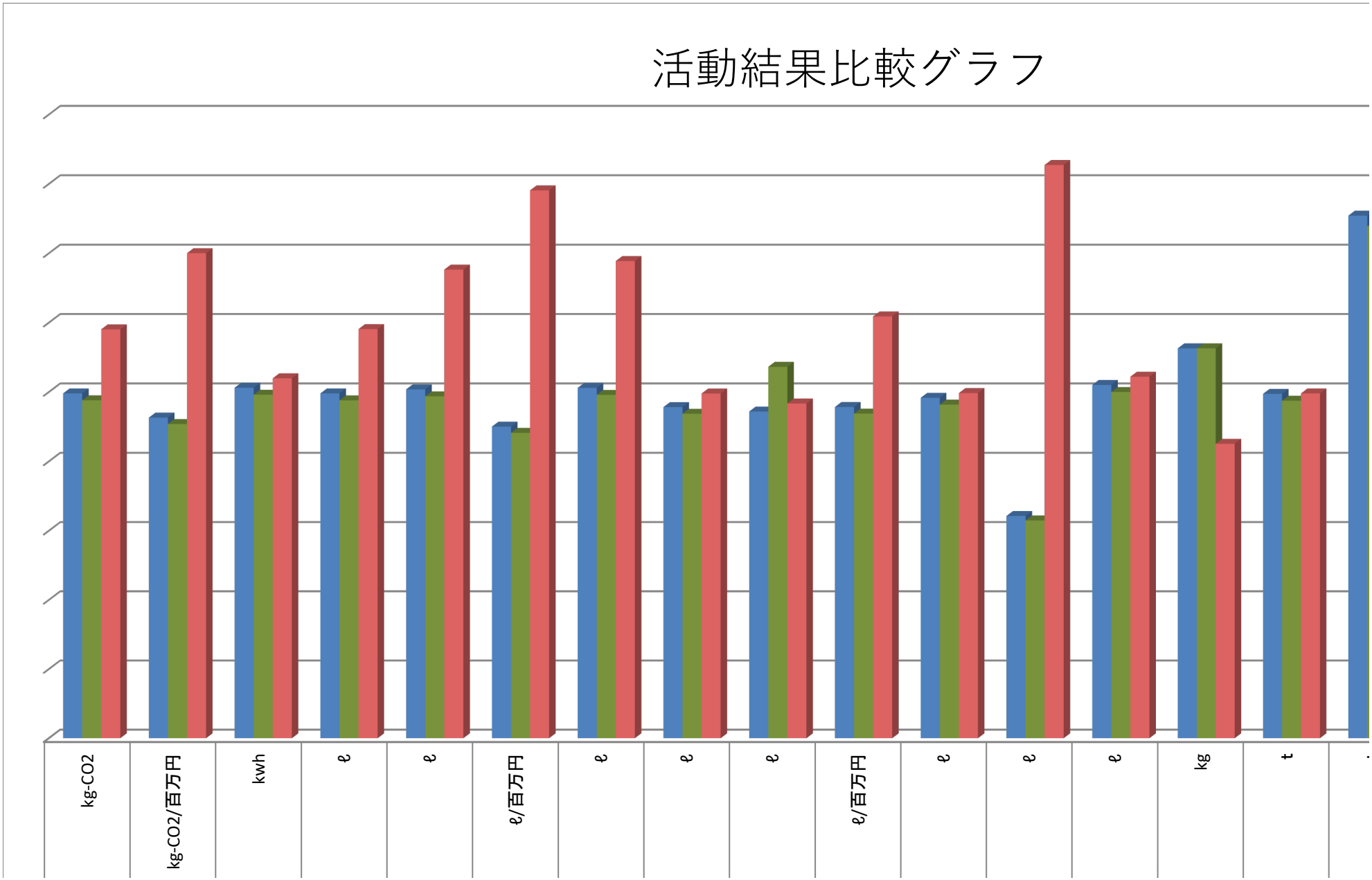
2.燃料について、工事部は現場への移動時は乗り合わせでいくこと、アイドリングストップ等を徹底し継続して行う。また、機械をリースする場合は、低燃費の新しい機械をリースできるようにお願いする。
クレーン部については、昨年同様長期作業の現場がある場合は軽乗用車にて移動を行ないエンジンオイル等のメンテナンスも確実に行う。

3.水道量については、昨年の７・８月に増加した際、使用方法に問題があったことに気付くのが遅れた。その後指導したので次年度は減少すると考える。

4.ガス使用量については、今後も沸騰時間の短縮に努める。

5.物品購入については、カタログ等を参考にグリーン商品を増やしていく。

6.リサイクルについては、継続して完全実施する。


活動結果比較グラフ
kg-CO2
kg-CO2/百万円
kwh
ℓ
ℓ
ℓ/百万円
ℓ
ℓ
ℓ
ℓ/百万円
ℓ
ℓ
ℓ
kg
t

８．環境経営活動状況

(2022年度)

◆事務所　照明器具取替

2023年1月18日取替実施

ＬＥＤに取替。

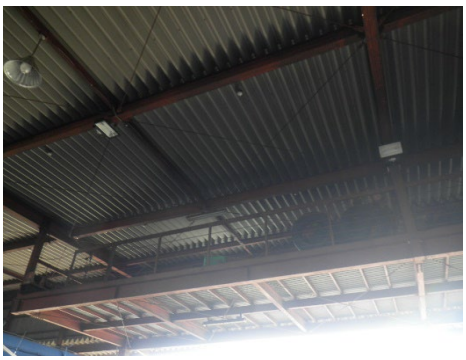
一本当たりの単価は蛍光灯より倍だが、

蛍光灯より明るくなった。

（2021年度）

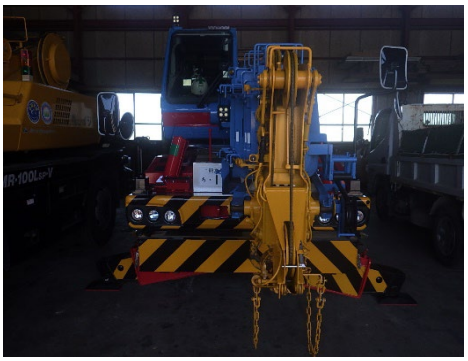
◆車庫　照明器具取替

2021年10月27日取替実施



◆クレーン車入替

2021年10月　10ｔクレーン（排出ガス１次）→13ｔクレーン（排出ガス基準４次）



（2020年度）

◆ロードクリーンボランティアの実施

1. 国道324号　年に１回実施（約1.５ｋｍ）（2020年月実施）

（2019年度）

◆ロードクリーンボランティアの実施

1. 国道324号　年に１回実施（約1.５ｋｍ）（2019年5月実施）

◆公共工事ボランティアの実施

側溝清掃　牛深現場（2020年1月実施）

(2017年度)

◆節水型の洋式トイレに改装　　（１回／年）

本年度7月に導入

和式のトイレが２つあり、１つを節水型の洋式に改装。

・INAX　ECO6（超節水ﾄｲﾚｼﾘｰｽﾞ）

・年間約12,000円の節水が可能

(2016年度)

◆温水洗車機の導入

本年度8月に導入

節水、出しっぱなし防止のため、洗車のホースを止水レバー付に替えた。

(2015年度)

◆温水洗車機の導入

本年度12月に導入

建設現場での油脂成分を含んだ汚れでは冷水より温水の方が効果的である。

仕事上、重機等を使うことが多いので、温水タイプの高圧洗浄機ならエコに繋がると考えられる。

（2012年度）

◆トイレの擬音装置設置（2012年7月）

（2011年度）

◆燃料ポンプの設置（2011年10月）

（2010年度）

◆手洗い場及び電気のスイッチ付近に、「節電」・「節水」を

啓発する張り紙をした。

◆ゴミ置場の分別を徹底した。

10. 環境法規制等の遵守状況

環境関連法規の遵守及び違反の有無

この１年間、環境法規制等の遵守活動を行い、順守チェックリスト（最新改訂令和2年年１０月２５日）に基づき遵守評価を行った結果、遵守しており、環境関連法規制への違反及び行政当局よりの違反等の指摘、その他訴訟等もありません。

関係法令名	チェック内容	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物マニフェストの管理 産業廃棄物処理委託契約 産業廃棄物管理表交付状況報告書	○
建設廃棄物処理マニュアル	マニフェストに基づく適正処理の実施	○
建設リサイクル法	分別解体の徹底 廃棄物を種類に応じた施設への適正な搬出	○
騒音・振動規制法	特定建設作業を行う場合 特定建設作業以外の建設作業	○
建設副産物定期性処理要綱	「再生資源計画」「再生利用促進計画」の作成実施状況	○
消防法	消防設備設置 少量危険物保管場所 消防用設備等点検	○
大気汚染防止法	排ガス規制対策車の使用促進 アイドリングストップの励行	○
フロン排出抑制法	３か月毎の点検	○
その他	保有車及び機械の空気圧、オイル等の点検 家電リサイクル法	○

11. 代表者の見直し

弊社は、２０１０年１０月からエコアクション２１（環境活動）の取組をはじめ、毎年目標をたて、目標達成のために職員一同日々努力してくれています。ただ、今年度は未達成が多くなりました。その要因の一つが燃料使用量の増加です。仕事の内容により建設機械を複数使用する現場が長期にわたった為ですが、その中でも、大きな負荷をかけずに機械の能力を最大に活かせる努力をすることが機械にも環境にも優しいことだと私は思います。
そういった機械操作の指導を次年度は取り入れ、環境経営目標達成を目指します。

また、今年度『ＳＤＧｓ』の登録事業者になりました。
今後も、「地域社会に貢献する企業」となるために、職員一同更なる努力をしてまいります。

見　直　し　項　目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項
1	環境経営方針	有・(無)	変更ありません。社員全員に周知徹底します。
2	環境経営目標・計画	(有)・無	目標達成出来なかった項目の次年度目標値の見直検討します。
3	環境経営活動計画・取組計画	有・(無)	変更ありません。社員全員に周知徹底します。
4	環境に関する組織	有・(無)	変更ありません。
5	その他のシステム要素	有・(無)	変更ありません。

2023年3月31日

株式会社　レイジュウ

代表取締役　植里幸太郎